

1 年のはじまりは、マラソンから！

1 月 1 日 元旦マラソン&ウォーキング大会を開催

新年の恒例行事「伊豆の国市元旦マラソン&ウォーキング大会」を菰山時代劇場で開催しました。市民のみならず、県外からも多くの参加者が集まる同大会は、今回で 12 回目を数えます。ウォーキングの部では、幼児が祖父母と一緒に参加する姿も多く見られました。雲ひとつない快晴のもと、気持ちのよい新年のスタートを切りました。

元気いっぱい走り出す子どもたち▶



平和の大切さを次代へつなぐ

12 月 18 日 平和祈念式典を開催

「つなげよう、平和への想い」をスローガンに、平和祈念式典をアクシスカつらぎで開催しました。式典では、戦没者追悼式や平和推進ポスターコンクール表彰、作品展示が行われました。また、国際医療支援活動を行う現役医師、桑山紀彦氏による「地球のステージ」公演が行われ、来場者は平和の尊さを学びました。

戦没者へ黙とうをささげる来場者▶



市のますますの発展を願って

1 月 6 日 賀詞交歓会を開催

平成 29 年伊豆の国市賀詞交歓会を、市功労者や各種団体の代表者など約 250 人の出席のもと、アクシスカつらぎで開催しました。会場では市商工会から「伊豆の国ブランド」認定商品が提供されました。また、市の伝統芸能である芸妓踊りも披露され、出席者はそれを楽しみながら情報交換を行いました。

◀橋本区連合会長の発声で乾杯する出席者



長年の河川管理従事を評価

12 月 19 日 河川管理に従事した個人が感謝状を受領

御門区在住の鈴木義美さんが、河川管理施設の適切な管理・操作に従事したとして、国土交通省沼津河川国道事務所長から感謝状を贈られました。この感謝状は、排水機場の操作委託に長年従事した個人に対し贈られるものです。鈴木さんは、宗光寺排水機場において毎月の点検や災害時の操作を行ってきたことを評価されました。

◀感謝状を手にする鈴木さん



無火災、無災害の 1 年に

1 月 8 日 消防団が出初式を举行

伊豆の国市消防団が、出初式を長岡体育館で行いました。

飯田団長は訓辞で「全国的に地震、台風、大火などで大きな被害が出ている。普段から災害に備えることが必要」と話しました。また、消防団活動に貢献した団員の表彰や、人命救助を行った団員への感謝状贈呈などが行われました。

人命救助を行った団員への感謝状贈呈▶



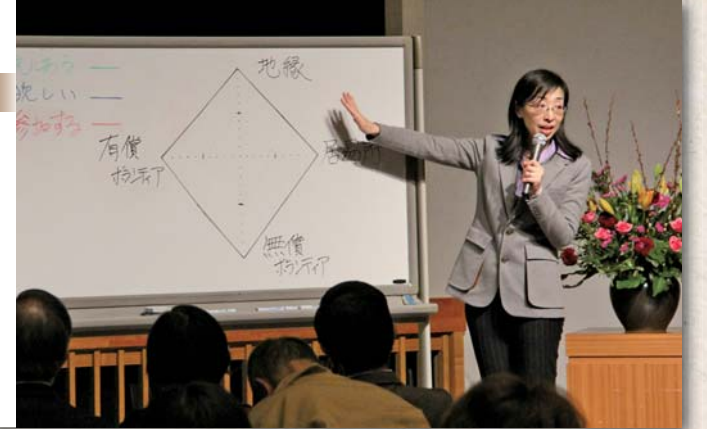
“支え愛・助け愛”の地域づくりを

12 月 20 日 地域づくりを考えるフォーラムを開催

“住み慣れた伊豆の国でいつまでも自分らしく生活する”地域を目指し、「支え愛・助け愛の地域づくりを考えるフォーラム」をアクシスカつらぎで開催。基調講演とパネルディスカッションを行いました。

参加した市民や福祉事業所、医療機関の関係者は、近所の居場所やボランティアなど身近な話題から、地域づくりのきっかけを考えました。

(公財) さわやか福祉財団の鶴山芳子氏による基調講演▶



旬の味覚、イチゴの季節！

1 月 14 日 伊豆の国いちごまつりを開催

市の特産品“イチゴ”を楽しむ「伊豆の国いちごまつり」を菰山時代劇場で開催しました。

紅ほっぺ・きらび香の食べ比べやいちご狩りツアー、イチゴの販売など、イチゴに関するイベントが盛りだくさん。そのほかにも、ステージイベントや大抽選会、餅まきなどを行い、会場は多くの人でにぎわいました。

◀紅ほっぺときらび香の食べ比べをする来場者



世界にひとつだけの門松を作ろう

12 月 26 日 あいキッズ「ミニ門松作り」を実施

子ども教室あいキッズ「本格！ミニ門松作り」を茅野っ子ひろばで実施しました。

小学 4 年生から 6 年生までの児童が参加し、真竹で柱を立てたのち、松や梅の枝、センリョウの実などを使って飾り付けを行いました。児童たちは、初めての作業に苦戦しながらも、それぞれが個性あふれる作品を完成させました。

◀講師にわら縄の結び方を教わる児童

